

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

46

第十三幕 第1場

キプロス島に向かうネグローナ号甲板にて

1523 7 月中旬

登場人物：巡礼者 イニゴ

ディエゴ・マニェス：聖ヨハネ騎士団の司令官

ディエゴ・マニェスの従僕

スペイン人司祭

[語り] 1523 年 7 月 14 日ヴェネツィアを出帆したネグローナ号には、イニゴを含めて次の 8 人のエルサレム巡礼者が乗っていました。すなわち、イニゴ及び 3 人のスペイン人、3 人のスイス人、一人のチロル出身者でした。イニゴはエルサレム巡礼について記録を残していませんが、ネグローナ号でイニゴと一緒にいたペトロ・フスリというスイス人、およびヴェネ

ツィアを先に発った 13 人の巡礼者のうちの一人フィリップ・ハーゲンという Strasbourg 出身のドイツ人が詳しい巡礼日記をつけていたので、イニゴの巡礼の日程を再現することができます。

スペイン人司祭： ヴェネツィアでずいぶん待ちましたが、ついにエルサレムに向けて出港することが出来ました！ 神に感謝です。待った甲斐がありました。Deo gratias！ Deo gratias！

ディエゴ・マニェス： 本当に長かったですな。大方の人が、今年は諦めて帰って行きましたからね。巡礼者総勢 20 人というのは例年に比べてごく少数ですね。

スペイン人司祭： 正確に言うと 21 人です。最後になってあのバスクの人が加わりましたから。それにしても、あの人はよくもまあ あの身体で乗船したものですね！

ディエゴ・マニェス： 是が非でもエルサレムに行きたかったのでしょうか。出港してからしばらくは、甲板に出てとても苦しそうでしたね。細身の体で海風に飛ばされそうに見えますが、したたかな根性を持っているように見えますね。

スペイン人司祭： 確かにそうです。寡黙で控えめな人なのに、昨夜は甲板で
大声で滅茶苦茶なイタリア語で叫んでいました。スペイン語が沢山混じ
っていたので何事かと甲板に出てみたのですが、水夫たちの悪行を見咎
めて、やめさせようと躍起になっていました。

ディエゴ・マニェス： たった一人で、何人もの海の荒くれ男に立ち向かう勇
気をどこから得たのでしょうか？ 勇気はあるにしても向こう見ずすぎて、
はらはらしましたよ。

(イニゴ甲板に上がってくる)

スペイン人司祭： ああ、噂の主が上がってきましたよ。

(イニゴに向かい大声で)

Buenos dias。御気分はいかがですか？

イニゴ： こんにちは、パードレ。今日はすっかり良くなりました。

昨日はご心配をおかけしました。

ディエゴ・マニェス： 昨日とは打って変わって元気そうですね。

顔色もいいですよ。

イニゴ： 有難うございます。海に向かって吐けるものをみな吐きだしてしまっ
たら、気分がすっかりスッキリしました。

ディエゴ・マニェス： ところで、昨夜水夫たちを叱りつけていたでしょう？

貴方の勇気には感服するが、危ないですよ。お見受けしたところ貴方、
えーと、お名前は何と・・・？

イニゴ： イニゴです。巡礼者イニゴと言います。

ディエゴ： 私はディエゴ・マニェスと言います。聖ヨハネ騎士団の司令官で
す。先ほどの話ですが、イニゴさん、彼らのすることに今は目をつぶっ
ていた方がいいですよ。

イニゴ： しかし、公然と甲板であんな忌まわしいことが行われているのを見過
ごしにしていいのでしょうか？

司祭： 良くはありません。しかし、貴方が叱ったからと言って、素直に従う
ような相手ではありませんよ。

ディエゴ： パードレの言われるとおりです。叱られて素行を改めるのであれ
ば、我々も協力しますが、無駄でしょう。それどころか、貴方に危害が
及ぶかもしれませんよ。（従僕に向かって）ホセ、今朝おまえが聞いた
ことを申し上げなさい。

ディエゴの従僕： 皆さんのお邪魔をします。朝早く、^{とも}艦のところでカモメの飛
ぶのを見ていたら、後ろの物陰から、ひそひそ話が聞こえてきたんでさ
あ。イタリア語だったんで全部は分からなかったけど、何でも誰かを

島流しにすると行ってました。昨日彼らを怒らせた奴をひどい目に合わせてやるとか、なんとか。

ディエゴ： ホセの話からすると、昨夜叱られたのを根に持って、そのスペイン人をどこかの小島に置き去りにしようとたくらんでいるようですよ。

司祭： あなたの正義感は認めますが、今第一に目指している目的を忘れてはなりません。今神が望んでいらっしゃるのはいわゆる我々が無事にエルサレムに着き、われらの主キリストが十字架につけられて死に、三日目に復活された聖なる地を巡礼することではありませんか？

イニゴ： 確かにおっしゃる通りです。自重しましょう。

ディエゴ： 仰る通りです。キプロスに赴任する知事たちとその家族が乗っているというのに、どうもこの船の水夫はガラが悪いですなあ。

司祭： そう